

西武地区地域包括支援センター

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

西武地区地域包括支援センターは、法人の理念と基本方針に基づき、また入間市より委託を受けた事業所として、地域の高齢者が認知症や病気などになっても、住み慣れた地域や自宅などで、できるだけ暮らし続けることができるよう、地域住民と共に西武地区の将来を考え、共に歩む姿勢を大切に、事業所運営を行います。2025年、約800万人の団塊の世代が後期高齢者(75歳)になる時代を迎えるにあたり、地域包括ケアシステムや地域共生社会の実現に向けた取り組みを継続して行います。

【私たちが提供できる価値】

《主任介護支援専門員》

高齢化がますます進行する中、地域包括ケアシステム構築に向けて、地域と圏域における事業所を繋げることが出来るよう、行政、関係機関、地域住民組織等と連携・協働します。

また、携わる高齢者の自立支援とは何かを考え介護保険制度やケアマネジメントの専門職として、高齢者の個々の状況や環境に応じて、地域のサービスや社会資源を活用しながら、住み慣れた地域で、その人らしい人生が過ごせるよう支援します。

《社会福祉士》

地域住民や介護支援専門員に対して、本人の権利や生命、財産等を守るための必要な知識を得ることができ、将来について考えるきっかけとなるよう、研修や講演会を開催します。

また、利用者やその家族、介護支援専門員からの相談を受け、成年後見制度の利用が必要かどうかを見極め、必要な場合には申立てが適切に行われるよう支援します。その他、高齢者虐待防止と早期発見に取り組み、発見、相談を受けた場合には、入間市高齢者虐待マニュアルに沿って対応し、関係機関等と連携を図り、チームで対応します。

《看護師》

地域住民が人生の主演として健康づくりに取り組めるよう、本人のみならず関係者等と個人の想いを共有しながら働きかけを行ないます。

健康状態や身体機能に変化があっても、生活課題に応じた支援を望む暮らしの場で本人が役割をもって受けられるよう、在宅医療・介護の相談に応じます。

《介護支援専門員》

少子・高齢社会となり介護保険の利用者が増え続けてゆく中、高齢者に寄り添い相談に応じ問題解決にあたります。自助努力も必要であると共に、地域の助け合いも今後より一層不可欠になります。高齢者の環境は、複雑化して支援の困難さもありますが、介護保険と地域の協力を得て、住み慣れた地域で生活ができるよう支援してゆきます。

《生活支援コーディネーター》

地域住民と共に、西武地区に必要な資源は何かを考えながら、地域住民と事業所、地域住民行政の懸け橋になれるよう、包括職員協力の下、連携・協働していきます。また、地域で支え合う必要性を発信、周知します。

【年度終了時の展望】

地域住民などが地域包括ケアシステムや地域共生社会について理解を深め、共に西武地区での将来を考え、世代が変わりゆく中であっても実現に向け連携・協働していく事が、継続して取り組むことができている。